

タウンミーティング（第 3 回）

日 時：平成 18 年 7 月 13 日（木） 19:30～21:20

場 所：千鳥台公民館

出席者：町 長	八十出 泰 成
（役場）助 役	浅 田 裕
教 育 長	浜 田 寛
まちづくり政策部長	西 尾 雄 次
都市整備部長	中 本 英 夫
公聴広報室長	北 川 真由美

（町会）24 名

千鳥台地区より提出されたテーマ

- 1 .能登有料道路直線化に伴う今後の町の道路計画について （都市整備部長）
- 2 .大京を含めた町全体の企業誘致計画について （助 役）
- 3 .公民館横広場や公園に時計を設置できないか （都市整備部長）
- 4 .中学校 2 校化が具体化されていないので、スクールバスの運行について検討していただきたい （教育長）

竹野町会長挨拶（略）

八十出町長挨拶（要約）

町政全般について少しずつ取り組みを進めているが、状況は厳しい。金沢・能登連絡道路直線化が昨年から実施され、今年度 3 億円で土地買収を始める。大京も体力が付き、直線化ではずみがついて、来年 7 月に開業予定となった。8 月初旬に大京本社より報告がある。地元説明会も行う予定。厳しい財政事情ではあるがみなさんと力を合わせ、少しずつ前向きに取り組みたい。

- 1 . 能登有料道路直線化に伴う今後の町の道路計画について（中本都市整備部長）

石川県は、昨年夏金沢港の大浜用地にコマツの新工場誘致をにらみ、水深 13m の大水深岸壁の早期整備に向け、周辺一帯の整備を先行して進めることを決定した。金沢港の浚渫土約 60 万 m³ を直線化区間の盛土として利用することで、約 5 億 5 千万円のコスト削減が図れ、全体事業費が圧縮されることから、金沢リンクス前から能登有料道路 S 字区間までの、約 3.4km の直線化区間のうち土地取得済の公有地に暫定的に盛土することとなった。現在のところ、事業期間は平成 18 年度から平成 22 年度（暫定 2 車線）、平成 25 年度（4 車線）予定となっており、今年度は残る土地の取得と道路の設計を行う。

直線化区間については基本的に 4 車線。現在の暫定盛土高は約 5～6m 位で 4 車線分を行っているが、暫定 2 車線部分は陸側の 2 車線を使い、道路は現地盤より約 2m 位さらに盛土を行い築造される予定。

直線化事業により町道の 3 路線が交差する事となるが、
・金沢市との行政界にある幹 11 号内灘海浜線は、
直線化区間が 4 車線で完成する時は立体交差となる。暫定 2 車線で供用する時の取

付は平面交差だが、何れも直線化区間の金沢・能登方向へ乗り降りする事が出来、千鳥台地区からは利便性が増す。

・幹 3 号向栗崎線（鉄板道路）は、

直線化区間との交差は、大京の開発行為で拡幅した現在の道路と同じ幅員（全幅 18m、3.5mの両歩道）のボックスで海側に貫通する形になり、ここからは直線化区間への乗り降りは出来ない。

・内灘高校横で進めている準幹 10 号線は、

全幅 15mで 3.5mの両歩道があり、直線化区間との取付は全幅 15mのボックスで海側に貫通し、乗り降りできない計画だが、現在、町は直線化区間への乗り降りができるよう計画の変更を要望している。

「準幹 10 号線の事業計画について」

この道路計画については、平成 7 年度に策定した内灘町地方道路網計画の中で、東山内灘線の延伸道路として、能登有料道路から千鳥台 2 丁目、内灘高校横を通り海浜地に至る約 815mを位置付けている。これは、

(1) 住民の利便性の向上を図る

(2) 大京開発区域へ企業が立地するための支援

(3) 町のイベント、観光客等、また、夏の海水浴シーズンで混雑する千鳥台地区の交通混雑解消を図る

等の観点から道路網として位置付けたもの。

平成 16 年に第 1 期区間として、内灘高校前から海浜地に至る約 415mを町道認定し、調査設計に着手した。今年度から本格的に用地買収に入る。現在の計画では平成 20 年度の完成予定。

第 2 期区間の千鳥台 2 丁目地内の計画は、県等の関係機関と事前協議を行っているが、能登有料道路が自動車専用道路であり、取り付けには色々な条件・問題が多く方針が決定していない。第 2 期区間の事業を進めて行くには、地域住民等のコンセンサスが必要不可欠と考えている。今後、各課題を整理し関係機関と十分な協議を行い、方針案がまとまり次第町会長等とも相談しながら進めたい。

質問：内灘高校横の道路は、大京が来ると一番利便性のある道路。是非、能登有料道路と繋がるよう町の努力をお願いしたい。

答え：最大限、県に要望していく。

質問：道路予定地に住宅があるが、立ち退きになるのか。

答え：ルートが確定していないので何ともいえない。

質問：測量していたのはそのためか。

答え：2~3 案のルートは想定しているがまだ確定ではない。

質問：清湖大橋から能登有料に向かう道路は、内灘高校横の道路ができた後に突き抜けるのか。

答え：そういう計画になっている。

質問：道の駅ができる予定は？高校横に土地はあるが。

答え：現段階では高校横の道路は海へ突き抜ける形態。まず乗り降りできるよう要望している。

2. 大京を含めた町全体の企業誘致計画について（助役）

今年 4 月 26 日に大京は今後の計画を議会に説明している。8 月 9 日に町に説明に来ることが決まった。来年 7 月もしくは再来年 3 月オープン予定している。まず

商業施設を先行させ、アメリカ村の戸建て住宅はその後になる。金沢市との境界にある道路はフルインター化になる。内灘高校横に乗り降りできるようになれば町全体の活性化につながる。商業施設について大京は地元商工会と打ち合わせているが、海があるため採算の面で実現が難航している。平成 2 年に計画が持ち上がってから 16 年間、もう計画延長は認めないと大京には言い渡してある。町も来月の説明会を心待ちにしている。

風力発電については 3 社の提示があり 8~10 基の計画。1 基当たり 2,000~2,500 ｋWh の電気をおこす計画。斎場からかほく市寄りの海側に建てるなら町は協力する意向。議会に図って最終合意を得る。北部土地区画整理地には 4,500 坪の商業用地を用意してある。いろいろ呼びかけているが、入居戸数が少ないため先行投資は難航している。集会所、保育所もできるので誘致に積極的に取り組む。

河北潟埋め立て田にも土地あるが、ヘドロを埋め立ててあるため地盤が軟弱。中学校前の陸上競技場は、当初より 1 m 近くも沈下した。地盤の関係で工場進出は難しい。北部地区は市街化調整区域内であるため、農地転用の許可が要る。隣接の大崎地区が住宅地になっているのと対照的。内灘は農地転用が難渋するので工場進出は難しい。

内灘には金沢医科大があり固定資産税や法人税は入らないが、雇用されている人の住民税また、アパートや店舗などの恩恵があり、優良企業と言える。町発展のために協力し合い今後も大事にしていきたい。

3. 公民館横広場や公園に時計を設置できないか（都市整備部長）

内灘町では現在、大小含め 69 箇所の公園を管理しているが、これらの大部分は、宅地造成に伴い義務的に設置されたもので、利用者はその地区住民の方々を対象にしている。そのため宅地造成で設置された公園の中には、時計を設置したものはない。例外的にハマナス恐竜公園にはモニュメントとして中に組み込まれたものがある。その他に 2 箇所（総合公園、向粟崎運動公園）利用者の多い公園に時計を設置してある。現在、防災行政無線で、昼の 12 時、夕方 5 時（6 月から 9 月は 6 時）にチャイムを鳴らし住民に時間を知らせているので、各公園に時計を設置する考えはありません。

質問：町内すべての公園は無理でも、利用者の多いところだけでもお願いしたい。子供が時間を確認できる。

答え：公民館隣接の公園は、公民館の時計を見てもらえばいいのでは。

鶴ヶ丘中央公園横で、民間の方が自宅の外壁に時計を設置し子供たちに役立てた事例がある。地域の力をお願いしたい。

町会長：ガラスが割れる心配もある。公民館横は利用者も少なく無駄。

町長：犯罪予防の面にも目を向けねばならない。「つけない」ではせっかくの貴重な意見が死ぬ。前向きに、町と町会とで折半して実現する案はどうか。

町会長：町会で検討する。

4. 中学校 2 校化が具体化されていないので、スクールバスの運行について検討していただきたい（教育長）

町の教育全般については、ハード面では耐震基準の引上により早急に校舎補強工事の必要が生じている。ソフト面では、ゆとり教育や英語教育など課題が多い。「ゆとりの中で未来を開く教育推進会議」を設け教育全般の議論をしている。提言を受け小学校低学年の 30 人学級を今年度から実施。英語教育についても週 1 回、年間 30 時間ほど取り入れる。2 校化の問題は意見が分かれるところがある。内灘中はかつて荒れていた時期もあったが、最近は先生や父兄の尽力のおかげで落ち着いている。問題行動が少なくなると勉強や部活動の成績も上がっている。生徒数もピーク時の 1,400 人から 900 人余りになり、依然としてマンモス校であることに変わりはないが、もう少し時間をかけて推移を見守りたい意見が大半を占めている。議会でも中学校 2 校化問題を議論している。内灘中学校は郡内で 2 番目に建った鉄筋校舎で、補強できないほど老朽化しており改築が喫緊の課題。国も財政厳しいが、補助が決まれば来年から取りかかりたい。その後で 2 校化の議論になるだろう。

スクールバスの運行については中学校からコンパスで線を引くと、千鳥台の端でだいたい 2 キロ。北部は福祉センターの坂あたりで等距離となり、現状は 2 キロを超える距離の生徒に乗ってもらっていることになる。国が定める遠距離通学の基準は小学校 4 キロ超、中学校 6 キロ超で、現況の 2 キロは決して長くはない。千鳥台も冬場は運行している。財政が厳しい折、御了承願いたい。

全般的な質疑

質 問	回 答
1 丁目の側溝の蓋、平成 14 年から町会要望で出している。できるかできないか、それだけ聞きたい。	千鳥台の側溝改修は終了している。現在蓋のないところは側溝を入れなくても幅員が 6m50 c m あり、強固で排水もいい。内灘町内にはまだまだ状態の悪いところが多くあり待ってもらっている。千鳥台は現状のままをお願いしたい。(都市整備部長)
1 丁目の通行禁止の看板は町会が作成した。ただ、法的な効力がないので、津幡署か内灘町の名前を併記できないか。	警察と協議してみる。(都市整備部長)
高齢化社会になりグラウンドゴルフ場の利用が盛ん。緑台・千鳥台・向陽台は 7 千人程の人口なのに付近に施設がない。総合公園グラウンドゴルフ場は町外の利用者が多く、マナーも悪い。費用を徴収するか時間制限を設ける等できないか。	総合公園グラウンドゴルフ場は多くの方に自由に楽しんでいただいております。町外利用者も多い。町外利用者の時間制限や費用については内部で協議してみる。(都市整備部長)
自主防犯組織を結成したが、町民の安全を守ることは自治体の義務。取り組む個々人で温度差もあり、苦勞に報いるためにも若干の予算付けをお願いしたい。	少子高齢化になり社会の安全を守るためボランティアの役割はますます重要。消防団・推進隊員には報酬支払われているが、防犯組織は結成されて日も浅く、社会が成熟すればそういう時代が来るかもしれない。今は崇高な精神に期待し、もう少し時間をかけて検討したい。(まちづくり政策部長)

<p>内灘高校の生徒数少ない。来年あたりどうなるのか心配。</p>	<p>ここ数年募集定員に満たない状況続いている。今年 3 クラス 120 人募集して 80 数名の応募。県の再編計画では 1 学年 3 学級を割ったら対象になる。厳しい状況にある。(教育長)</p>
<p>緑台、千鳥台、向陽台は 3 台協議会を設けている。このうち緑台の児童だけが向粟崎小学校に通っている。清湖小学校に校区変更できないか。</p>	<p>清湖小学校建設時、校区を分離したいきさつが今は不明。清湖小は 1 学年 2 クラスの規模で、緑台の児童が入るとおそらく教室が不足する。校区を変更するには緑台、向粟崎の方の意見も聞かねばならず、大多数の意見として集約できれば、変更もあり得る。(教育長)</p>
<p>財政が厳しいと何回も聞く。不安材料ばかり。明るい展望ないのか。5~10 年先の見通しは。</p>	<p>現在第 4 次総合計画を策定中。10 年後に人口 3 万人を目指している。子育て・教育・高齢者対策を積極的に推し進めたい。ハード事業も民間の力を借りながら進める。多くの人に来てもらう町にしたい。行政だけでは成し得ないので、是非みなさんの力・知恵を借りたい。(町長)</p>
<p>オーシャンバスは試験的ということだったが、町営バスの考えは？</p>	<p>オーシャンバスは乗車人数が 1 回平均 4.6 人。10 人以上でないと営業成り立たない。高齢化が進むと公共交通は基幹的な位置づけになり、他の自治体も赤字覚悟で走らせている。今年度検討委員会を発足させた。ルート・利便性等よく調査して将来的には実施したい。(町長)</p>
<p>営利企業に任せず、是非町の活性化策として取り組んでもらいたい。</p>	